

## 「第2次枚方市健康増進計画」 目標値の考え方

目標値の考え方については、主に策定時のものを記載。変更修正等があるものには※を表記し、追記している。現状値は中間報告の算出方法を記載している。

### 項目番号1：75歳未満のがんの年齢調整死亡率（10万人当たり）

がんは市民の生命と健康にとって重大な問題である。平均寿命の延びと出生率の低下に伴い高齢者の人口比率が増加しているため、75歳以上の死亡を除くことで、壮年期がん死亡の現状などが高い精度で評価できるため目標項目とした。

**現状値：**（平成28年度）平成27年国勢調査で公表されている日本人人口を按分計算し、5歳刻みの人口を算出。その上で「枚方市保健所年報（平成29年度）」の「資料編 平成28年死者数、性・年齢（5歳階級）」の表を用いて処理し独自算出。

**目標値※：**目標値を達成しているが、年度によるばらつきも考えられるため、健康日本21の目標値にあわせ設定している目標値は変更せず、さらなる減少をめざす。

### 項目番号2～6：がん検診の受診率（肺、子宮、胃、乳、大腸）

がん死亡率減少のためには、がん検診受診率の向上は必須であるため目標項目とした。

**現状値：**（平成30年度）枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より、40歳以上（子宮頸がんのみ20歳以上）の値を算出し設定。

**目標値：**策定時の現状値を考慮し、健康日本21（第2次）の目標値にあわせ設定。

なお、健康増進法に基づくがん検診の対象者設定にあわせ、現状値および目標値は年齢の上限を設けないものとした。

### 項目番号7：特定健康診査の受診率

### 項目番号8：特定保健指導の利用率

各実施率は、生活習慣病対策に対する取組状況を反映するため目標項目とした。

**現状値：**（平成28年度）枚方市国民健康保険特定健康診査 法定報告より設定。

**目標値※：**第3期枚方市国民健康保険特定健康診査等実施計画にあわせ、目標値を60%から50%に変更する。

### 項目番号9：メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

循環器疾患との関連が証明されているため目標項目とした。

**現状値：**（平成28年度）枚方市国民健康保険特定健康診査 法定報告より設定。

**目標値：**健康日本21（第2次）では、現状値の25%減少を目指しているため、本市においても策定時の現状値の25%減の値を設定。

### 項目番号10：高血圧（Ⅱ型以上）の割合

血圧値が高い者のうち、特に要治療域にある160/100mmHg以上の割合を目標項目とした。

**現状値：**（平成28年度）枚方市国民健康保険特定健康診査 法定報告より設定。

**目標値：**第2次大阪府健康増進計画では、現状値の15%減少を目指しており、本市においても策定時の現状値の15%減の値を設定。

### 項目番号11：LDL コレステロール高値の割合

脂質異常症は虚血性心疾患の危険因子であり、特に総コレステロール及びLDLコレステロールの高値は、重要な指標とされている。枚方市国民健康保険特定健康診査では、LDLコレステロール値を検査項目としているため、こちらを目標項目とした。

**現状値：**（平成28年度）枚方市国民健康保険特定健康診査 法定報告より設定。

**目標値：**健康日本21（第2次）の目標値にあわせ設定。

## 項目番号12：糖尿病型に該当する割合

糖尿病の重症化を予防する観点から、血糖高値の者の割合を目標項目とした。

現状値：(平成28年度)枚方市国民健康保険特定健康診査 法定報告より設定。

目標値：糖尿病は、年々増加傾向にある疾患であると予測されているため、第2次大阪府健康増進計画では、5年間で増加が予測される約10%を抑制することとして、現状維持としている。本市においても、これらの基準を参考に、現状値に対して「増加の抑制」と設定。

## 項目番号13：COPDがどんな病気か知っている者の割合

COPDは、今後増加が予想されているにもかかわらず、十分認知されていない状況である。今後、認知度を高めていく必要があることから目標項目とした。

現状値：(平成30年度)枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：策定時の現状値を考慮し、健康日本21（第2次）の目標値にあわせ設定。

## 項目番号14：悩みやストレスなどのために身体や心の不調がある者の割合

過剰なストレスは身体や心に不調としてあらわれる。本市において、壮年期において高い割合を示していることをふまえ目標項目とした。

現状値：(平成30年度)枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：「健康問題」や「経済・生活問題」「家庭問題」等、様々な要因が複雑に関係しており、総合的な対策が必要であるため、具体的な目標値は設定せず減少とした。

## 項目番号15：欠食のある幼児の割合

食習慣が確立してきている時期において、欠食をなくすことは重要であるため目標項目とした。

現状値及び目標値※：第3次枚方市食育推進計画にあわせ設定。

(平成28年度)枚方市3歳6か月児健康診査の問診結果より設定。

## 項目番号16：1歳6か月児の早寝早起きの推奨

早寝早起きの生活習慣を獲得し生活リズムを整えることは、活動量が増えていく1歳6か月児のころより取り組むことが重要であるため目標項目とした。

現状値：(平成29年度)枚方市1歳6か月児健康診査の問診結果より設定。

目標値：極端に遅い就寝および起床の児をなくすことを目標とし目標値を設定。

## 項目番号17：むし歯のない幼児（3歳児）の割合

乳歯列が完成し、よく噛む習慣を身につける時期である3歳児において、むし歯がないことが乳歯列の健全な育成のために不可欠であるため目標項目とした。

現状値：(平成29年度)枚方市3歳6か月児健康診査の結果（枚方市母子保健事業実績報告）より設定。

目標値：「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の目標値にあわせ設定した。

## 項目番号18：朝食を欠食している小中学生・高校生の割合

朝食を食べるといふ食習慣の形成が重要であるため目標項目とした。

現状値及び目標値※：第3次枚方市食育推進計画にあわせ設定。

## 項目番号19：たばこの害について「わからない」小・中学生の割合

## 項目番号20：アルコールの害について「わからない」小・中学生の割合

たばこの害およびアルコールの害についての正しい知識をもつことは、未成年の喫煙および飲酒を防止するためにとっても重要であるため目標項目とした。

現状値：(平成30年度)小学生・中学生の生活習慣や歯と口の健康に関する調査結果より設定。

目標値：未成年の喫煙および飲酒を防止するには、害についての正しい知識の習得は不可欠であるため、「わからない」と答える割合を0%に設定。

## 項目番号21：睡眠時間が短い子どもの割合

睡眠時間は、昼間の体の疲れや、脳の疲れをとるためにとっても大切であるため目標項目とした。

現状値：(平成30年度)小学生・中学生の生活習慣や歯と口の健康に関する調査結果より設定。

目標値：現代社会が24時間化するとともに、生活は夜型化し、こうした社会的環境の変化は、子どもの生活にも影響を与えている。社会全体の問題と捉え啓発していく必要があり、具体的な目標値は設定せず「減少へ」と設定。

## 項目番号22：1日のうちに主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の割合

⇒

### 22-1：1日のうちに2食以上主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている若い世代の割合

### 22-2：1日のうちに2食以上主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている者の割合

生活習慣病予防のためには、バランスのとれた食事が重要であるため目標項目とした。

現状値：第3次枚方市食育推進計画（平成29年度枚方市「食」に関する市民意識調査）より設定。

目標値※：第3次枚方市食育推進計画の変更に伴い、目標項目を22-1、22-2に追加変更し、設定。

## 項目番号23：朝食を欠食している大学生・専門学校生の割合

生活習慣病予防のためには、バランスのとれた食事が重要であるため目標項目とした。

現状値：第3次枚方市食育推進計画（平成29年度枚方市「食」に関するアンケート 市内の大学及び専門学校）より設定。

目標値※：第3次枚方市食育推進計画の変更に伴い、目標項目を設定。

## 項目番号24：運動習慣者の割合（20歳～64歳）

30分・週2回以上の運動を1年以上継続している者を運動習慣者と定義した。運動習慣者は就労世代と比較して退職世代では明らかに多いので、20～64歳と65歳以上の2つの年代に分けて目標項目とした。

現状値：(平成30年度)枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：健康日本21（第2次）では、現状値の10%増加を目指しており、本市においても策定時の現状の10%増の値を設定。

## 項目番号25：睡眠による休養が十分とれていない者の割合

睡眠不足等は、生活習慣病の発症・悪化等の要因でもあり、また疲労感をもたらすストレスの原因となるため目標項目とした。

現状値：(平成30年度)枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：策定時の現状値を考慮し、健康日本21（第2次）の目標値にあわせ設定。

## 項目番号26：適正体重を維持している者の割合

生活習慣病の予防のためにも、適正体重を維持（特に肥満者の減少）していくことが重要であるため目標項目として設定した。

現状値：(平成30年度)枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：策定時の現状値は健康日本21（第2次）の目標値を達成していたため、本市においては、策定時のアンケート結果より肥満の割合が一番低かった30歳代の割合まで低下させ、10年後も肥満の割合が維持されることを目標とし設定。

## 項目番号27：成人の喫煙率

禁煙による健康改善効果は明らかであるため目標項目とした。

現状値：(平成30年度)枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：策定時の現状値を考慮し、健康日本21（第2次）の目標値にあわせ設定。

## 項目番号28：生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合

飲酒による健康への影響は、男女差が大きく、生活習慣病のリスクを高める飲酒量が異なることから、1日の平均純アルコール摂取量が男性40g、女性20g以上がリスクを高める量として目標項目とした。

現状値：（平成30年度）枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より、飲酒の頻度と飲酒日の1日当たりの飲酒量を用いて次の方法で算出。

【男性】（「毎日×2合以上」＋「週5～6日×2合以上」＋「週3～4日×3合以上」＋「週1～2日×5合以上」＋「月1～3日×5合以上」）/全回答者数

【女性】（「毎日×1合以上」＋「週5～6日×1合以上」＋「週3～4日×1合以上」＋「週1～2日×3合以上」＋「月1～3日×5合以上」）/全回答者数

目標値：健康日本21（第2次）では、現状値の15%減少を目指しており、本市においても策定時の現状の15%減の値を設定。

## 項目番号29：低栄養傾向にある高齢者の割合

高齢期の適切な栄養は、生活の質のみならず、身体機能を維持し生活機能の自立を確保する上でも極めて重要であるため目標項目とした。

現状値：（平成30年度）枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：BMI20以下の者の割合は、疾病や老化などの影響を受けて65歳以降も年齢が上がるにつれ増加すると予想される。自然増により見込まれる割合を上回らないことを目指し「増加の抑制」と設定。

## 項目番号30：運動習慣者の割合（65歳以上）

## 項目番号31：意識して身体活動・運動を行っている者の割合（75歳以上）

30分・週2回以上の運動を1年以上継続している者を運動習慣者と定義した。運動習慣者は就労世代と比較して退職世代では明らかに多いので、20～64歳と65歳以上の2つの年代に分けた。また、閉じこもりは、心身の病気や身体機能の低下等を加速させ、要介護状態になる可能性が高まるため、75歳以上においての目標とし各々目標項目とした。

現状値：（平成30年度）枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート結果より設定。

目標値：健康日本21（第2次）では、現状値の10%増加を目指しており、本市においても策定時の現状の10%増の値を設定。

## 項目番号32：認知症サポーターの人数

自らも認知症サポーターとなり、活動を通じてさまざまな人との交流を深めることは、生きがいを通じた健康づくりにもつながるため目標項目とした。

現状値：（平成29年度）ひらかた高齢者保健福祉計画21（第7期）より設定。

目標値※：ひらかた高齢者保健福祉計画21（第7期）の目標値に変更して新たに設定。

## 項目番号33：60歳で24本以上の歯を有する者の割合

歯の喪失を防止し、咀嚼機能を維持していくという観点から、歯の喪失が急増する50歳前後の人に対するより身近な目標として設定した。

現状値：（平成30年度）枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート（55～64歳）の結果より設定。

目標値※：枚方市歯科口腔保健計画の目標値にあわせて修正し設定。

## 項目番号34：80歳で20本以上の歯を有する者の割合

20本以上の自分の歯を有すれば、食生活に大きな支障を生じず、また、歯の喪失予防、口腔機能の維持・向上が、寿命の延伸と関連するとの報告から、早い年代から歯の喪失防止が必要であるため目標項目とした。

現状値：（平成30年度）枚方市民の生活習慣や歯と口の健康に関するアンケート（75～84歳）の結果より設定。

目標値：策定時の現状値を考慮し、健康日本21（第2次）の目標値にあわせて設定。